

令和 3 年度学校経営計画表（案）

1 学校の現況

学校番号	3 2		学校名	茨城県立東海高等学校				課 程		全 日 制		学校長名		鈴 木 正 人				
教頭名	阿 内 勉											事務(室)長名		岡 部 久 美				
教職員数	教諭	3 1	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	0	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	4 5		
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数					
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	普通科	52	109	48	91	53	103			153	303	12						
	科																	

2 目指す学校像

- ・生徒、教職員、家庭、地域が連携し、地域社会から愛される学校。
- ・一人一人の自主性、自立性を育むとともに、明るく誠実で、知性豊かな、心身ともに健康な生徒を育成する学校。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学 習 指 導	・基礎学力不足と学習意欲の低さに対応するため、英語と数学において少人数授業を展開しており、一定の成果は上がっているが、成績上位層が少ない。 ・類型別の教育課程を編成しているが、生徒自らが進路を考え、学習等に取り組むことができない。	・基礎学力の育成。自ら学習に取り組む態度の育成。家庭学習の習慣化。成績上位層への対応。 ・生徒自ら目指す進路を考え、主体的に学習に取り組むための方策。
進 路 指 導	・令和2年度、進学108名(68%)、就職46名(29%)、未定者4名(3%)であった。昨年度より進学が20名増え、就職が6名減少し、平成30年度に似た傾向となった。 ・大学の総合型選抜(旧AO)では、学力重視によりやや苦戦した。 ・第1次就職試験不合格後、希望職へ拘泥し、就職活動をやめてしまう生徒がみられた。	・総合型選抜に対応できる小論文・作文の文章力、英語・国語・数学の基礎学力 ・能力や適性に応じた進路指導 ・キャリア教育の計画的な指導と充実
生 徒 指 導	・規範意識の高揚に努めている。また、いじめなどなく、「明るく楽しく元気よく笑顔で行動しよう。」を目標にして基本的な生活習慣を身につけることを重要事項とした結果、各学年とも指導を要する生徒が減少してきている。	・全職員の共通理解と徹底した取り組み ・保護者・地域社会との連携強化 ・生徒ひとりひとりに対する目配り
特 別 活 動	・昨年度末の部活動加入率は、男子82.4%、女子74.7%、全体で77.5%となり、6年連続で7割を超えた。 ・昨年度はコロナウィルスの流行状況を鑑みてたくさんの行事等が中止となった。	・部活動の3年間の継続 ・H R 活動、生徒会活動、委員会活動の充実 ・学校行事をとおしてのリーダーの育成 ・地域行事への積極的な参加

働 き 方 改 革	・週に1日は定時退勤、部活動休養日を設けることが定着していない。	・業務の軽減と効率化 ・教育活動と時差出勤の円滑な運用
-----------	----------------------------------	--------------------------------

4 中期的目標

・生徒一人一人の学力向上と意欲的な学習を促すため、生徒の能力に応じた細やかな授業を展開する。 ・進路目標を早期に明確化させるとともに、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 ・基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせると共に、家庭との連携のもと、心の教育の充実を図る。 ・地域社会との連携を深め、教育活動の充実を図る。 ・働き方改革を推進し、教職員の健全な勤務体制を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・学び直しの学習指導を行い、ICT等を活用しながら個々の学力向上に努める。	・年間指導計画表を活用して、組織的・計画的な学習指導を推進する。 ・ICT等の活用を含めて指導方法の工夫・改善に努め、基礎的・基本的な知識の定着を図る。 ・個々の学習課題を提示することにより、学習目標を明確にさせ、生徒の意欲を喚起する学習指導を行い、学力の向上を図る。
・多様な進路希望に応えられる進路指導体制を確立し、個々の進路希望の実現に向けた指導の充実を図る。	・生徒の進路情報収集に関する不安解消に努め、進路実現のため必要な情報提供を目指す。 ・就業体験(インターシップ)や幼稚園体験実習、1日看護体験等をとおして、自立心や職業観を育成し、キャリア教育の充実を図る。 ・進学、就職のための学習指導の充実を目指す。
・基本的生活習慣の確立を図りながら、シチズンシップ教育を推進し、自主的・自立的態度の育成に努める。	・家庭や地域との連携を密にし、相互の信頼・協力を基に生徒の健全な育成に努める。 ・服装、頭髪、公衆道徳等の指導をとおして、規律のある明るい学校を確立するとともに、教職員が共通理解のもと一貫した生活指導を行う。 ・道徳の授業を充実させ、健全な心の育成を図る。 ・シチズンシップ教育や情報モラル・公共マナーの指導等をとおして、社会性を育成する。
・生徒会活動・部活動を奨励し、スポーツ・文化・芸術を親しむ態度と達成感や連帯感の育成に努める。	・自主的・主体的な生徒会活動・部活動の活性化をとおして、集団の一員としての自覚を促し、他と協調できる豊かな人間性を育成する。 ・部活動の3年間継続を目標とさせ、技術・体力の向上を図り、心身ともに健全な生徒の育成に努める。 ・ボランティア、体験活動、地域の行事への積極的な参加を促し、奉仕の精神、自立への精神を育成する。 ・キャリアパスポートを活用し、学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、人間関係形成、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の伸長を図る。
・地域と連携し、信頼される魅力ある学校づくりに努める。 ・働き方改革を進め、教育活動の精選と充実を図る。	・地域の行事等に積極的に参加するなど、地域との連携を深める。 ・広報活動を充実し、新聞社への投げ込み等積極的に学校の活動状況を発信する。 ・校務の適正な分担を図り、各自週1日以上定時退勤日を設ける。 ・ICT等を活用することで教材の共有化や精選・充実を図り、教員と生徒が向き合う時間を確保する。